

令和2年1月27日

港湾空港局物流振興課

北九州港においてLNGのコンテナ輸出トライアルを実施

本日、北九州港において、一度の出荷量としては“国内で最大”となるLNG（液化天然ガス）のコンテナ輸出トライアルが実施されました。

■背景

LNGは、他の化石燃料（石油・石炭）と比べ、燃焼時の二酸化炭素の排出量が少なく、硫黄酸化物やばい煙が発生しないクリーンエネルギーとして注目されています。

中国では、環境対策として石油・石炭からLNGへの転換が進んでいますが、パイプラインが整備されていない地域（内陸部等）もあり、これらの地域へ容易にLNGを供給できる専用タンクコンテナでの輸送需要が高まっています。

■トライアル概要

ひびきLNG基地において、専用タンクコンテナ15本にLNGを充填し、最寄りにある北九州港・ひびきコンテナターミナルにて一時貯蔵後、同コンテナターミナルより中国上海港に向けて輸出しました。なお、一度の出荷量としては国内で最大規模となります。

- ◇実施者：西部ガス株式会社
- ◇実施日：令和2年1月27日
- ◇仕出港：北九州港ひびきコンテナターミナル
- ◇仕向港：中国上海港
- ◇貨物量：専用タンクコンテナ15本（30TEU）

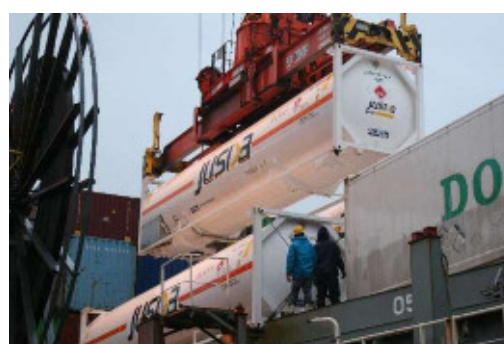
■今後について

西部ガス株式会社は、今後、専用タンクコンテナを利用したLNG出荷事業の事業化及び事業拡大を図られる予定です。

本市としましては、同計画に最大限協力するとともに、北九州港・ひびきコンテナターミナルの活性化を目指してまいります。



充填の様子（ひびきLNG基地）



輸出の様子（ひびきコンテナターミナル）

【問い合わせ先】

港湾空港局物流振興課

電話：093-321-5941（担当：日比野、加藤）